

※5

- ※1：メーカーやOSの種類等により、収集できないものがあります
- ※2：レジストリ値からの計算により算出したもので、厳密なものではありません
- ※3：レジストリ値の先頭デバイスを表示していますので、ハードディスク名が表示しない場合があります
- ※4：ACCESSのテーブルにデータを事前登録することで、氏名、所属部署を表示することが可能です
- ※5：収集できるプロダクトIDは、一部のソフトウェアに限定されます

注) パソコンの規格やOSによっては、情報の取得が不可な場合が有ります

3. 対応スペックおよび使用環境

◇サーバー（情報を取得する側のパソコン）

- ・NT4.0、Windows2000(SP4)、WindowsXP（クライアントパソコンで可）
- ・メモリ128MB以上
- ・CPU400Mhz以上
- ・レジストリサービスが起動されていること（NT系は通常起動されています）
- ・NetBios over TCP/IPのサービスが起動されていること（NT系は通常起動されています）
- ・HUBと有線接続であること（無線アクセスポイントには、Netbiosが利用できないものがあるため）
- ・MS-ACCESS2000（XPまたは2003でも可）がインストールされていること。

◇クライアント（情報を取得される側のパソコン）

- ・NT4.0、Windows2000、WindowsXPのサーバもしくはクライアント
- ・パーソナルファイヤーウォールが使用されていないこと。
- （使用されている場合は、サーバーのアドレスのアクセスを許可する）
- ・参加しているドメインのAdministrator権限が、ローカルのAdministratorsグループに登録されていること。

4. インストール

VB6ランタイムをインストールして下さい。（ベクターサイトからダウンロードして下さい）
Cドライブのルートに「Kaeruno_ike」フォルダを作成して、その中へ「AppInfoGet.exe」プログラムとOCXファイル（MSWINSCK.OCX）、および「SystemData.mdb」をコピーして下さい。

5. 使用方法

- (1) ドメインのadministrator権限のあるユーザー（若しくは対象パソコンのローカルアドミニ権限所有ユーザーで）でログオンして下さい。
- (2) 「AppInfoGet.exe」を実行して下さい。
 - ① 「IPアドレス」に対象パソコンのアドレスを入力後、「検索開始」ボタンを押すと対象パソコンの情報が画面に表示されます。
何も入力せずに「検索開始」ボタンを押すと、実行したパソコンの情報が画面に表示されます。
 - ② 「コピー」ボタンを押すと、画面に表示した内容をクリップ上にコピーします。
メモ帳等へ貼り付けてご利用下さい。
 - ③ 「画面クリア」ボタンを押すと、画面に表示した内容をクリア（消去）します。
 - ④ 「DB更新」ボタンを押すと、ACCESSのテーブルに収集したデータを一括登録します。
 - ◇事前準備
 - ・ACCESSのデータベース「SystemData.mdb」を開きます。
 - 次に、その中のテーブル「System_Information」を開いて、項目「IP_Address」にアプリケーションの情報を収集したい対象PCのIPアドレスを登録します（半角）
入力が終了したら、テーブルを閉じて下さい。（データベースは開いていても影響はありません）
 - ◇処理の流れ
 - ・「DB更新」ボタンを押すと、「System_Information」に登録されているIPアドレスを読み込み、リモートレジストリサービスを利用して、対象PCのアプリケーション情報を収集します。
 - 収集したデータは「System_Information」テーブルと「Application_Table」テーブルへ登録します。
 - 登録される項目は別紙「テーブル項目」を参照願います。
 - ・情報収集ができたPCは、「System_Information」テーブルの項目「Update_Flag」へチェックをつけ、次回実行時の対象からはずします。
 - ⑤ データを最初から登録しなおしたい時には、「フラグリセット」ボタンを押して、データベースの内容を消去します。
（登録したIPアドレスは消去されません）
「System_Information」テーブルの項目「Update_Flag」のチェックフラグを消すことにより、登録されているIPアドレスを全件読み込み対象にします。
同時に、「Application_Table」テーブルのデータを全件削除します。
「System_Information」テーブルの項目は、「Update_Flag」以外は削除しません。

6. 留意点

- ・「終了」ボタンを押してもすぐに反応しない場合があります。
1～2分程度お待ち願います。
あきらかに反応がない場合は、ctrl+Alt+Delを押して、タスクの終了画面から、「AppInfoGet.exe」を終了して下さい。
- ・バッチ処理を行っている時、アプリケーションの情報欄への描画反応がにぶくなってきますが、ACCESSテーブルへのデータ登録には影響はありません。

7. その他

◇収集できるプロダクトID (AutoCADのみシリアルNo.)

- Microsoft Office 2000 Personal
- Microsoft Office 2000 Standard
- Microsoft Office 2000 Professional
- Microsoft Office 2000 Premium
- Microsoft Office 2000 SR-1 Personal
- Microsoft Office 2000 SR-1 Standard
- Microsoft Office 2000 SR-1 Professional
- Microsoft Office 2000 SR-1 Premium

- Microsoft Office XP Personal
- Microsoft Office XP Professional
- Microsoft Office XP Professional with FrontPage
- Microsoft Office XP Standard

- Microsoft Office Personal Edition 2003
- Microsoft Office Professional
- Microsoft Office Professional Edition 2003
- Microsoft Office Project Standard 2003

- Microsoft Visio 2000 (JP)
- Microsoft Visio Professional 2002 SR-1 [JPN]
- Microsoft Visio Professional 2002 [JPN]
- Microsoft Visio Standard 2002 SR-1 [JPN]

- Office Visio Professional 2003
- Microsoft Office Visio Standard 2003

- Adobe Acrobat 6.0 Standard - Japanese
- Adobe Acrobat 6.0.1 Standard - Japanese
- Adobe Acrobat 6.0 Professional - Japanese

- Adobe Acrobat 7.0 Standard - Japanese
- Adobe Acrobat 7.0 Professional - Japanese
- Adobe Photoshop 7.0

- Adobe Illustrator 10
- Adobe Illustrator CS

- AutoCAD 2002
- AutoCAD 2005 - Japanese
- AutoCAD Mechanical 6

◇情報取得時間を早くする方法

(※レジストリを変更しますので、バックアップを取ってから行って下さい。
尚、変更による不具合に対しては一切責任を負いませんので、自身の責任
において行って下さい)

サーバー側 (情報を取得する側のパソコン) のレジストリを変更します。

- (1) レジストリのバックアップを行います
- (2) レジストリエディタを起動します
- (3) 以下レジストリの値を変更し、再起動します

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Session Manager
¥Memory Management
値 : LargeSystemCache を 2 (REG_DWORD 10進数)に変更します

詳しいお問い合わせは、「kaeruno_ike@mbf.ocn.ne.jp」までメールでお願い致します。